

冬（12～2月）の天候

2017 年（平成 29 年）冬（2016 年 12 月～2 月）の特徴：

全国的に暖冬だった

日本付近は、寒気の南下が弱く、気温の高い日が多かったため、全国的に暖冬となった。一時的に強い寒気が南下することがあり、北日本では冬の前半に、東日本以西では冬の後半に低温となる時期があり、気温の変動が大きかった。冬の降雪量は、北日本日本海側ではかなり少なく、東日本日本海側では少なかった。西日本日本海側では、大雪となる時期があり、平年並だった。

西日本日本海側は、1月中旬～下旬前半と2月上旬後半～中旬前半に大雪

西日本を中心に、1月中旬～下旬前半と2月上旬後半～中旬前半に冬型の気圧配置が強まり、強い寒気が南下したため、西日本日本海側では大雪となり、交通障害や農業施設被害が発生した。

日照時間は、東・西日本太平洋側でかなり多かった

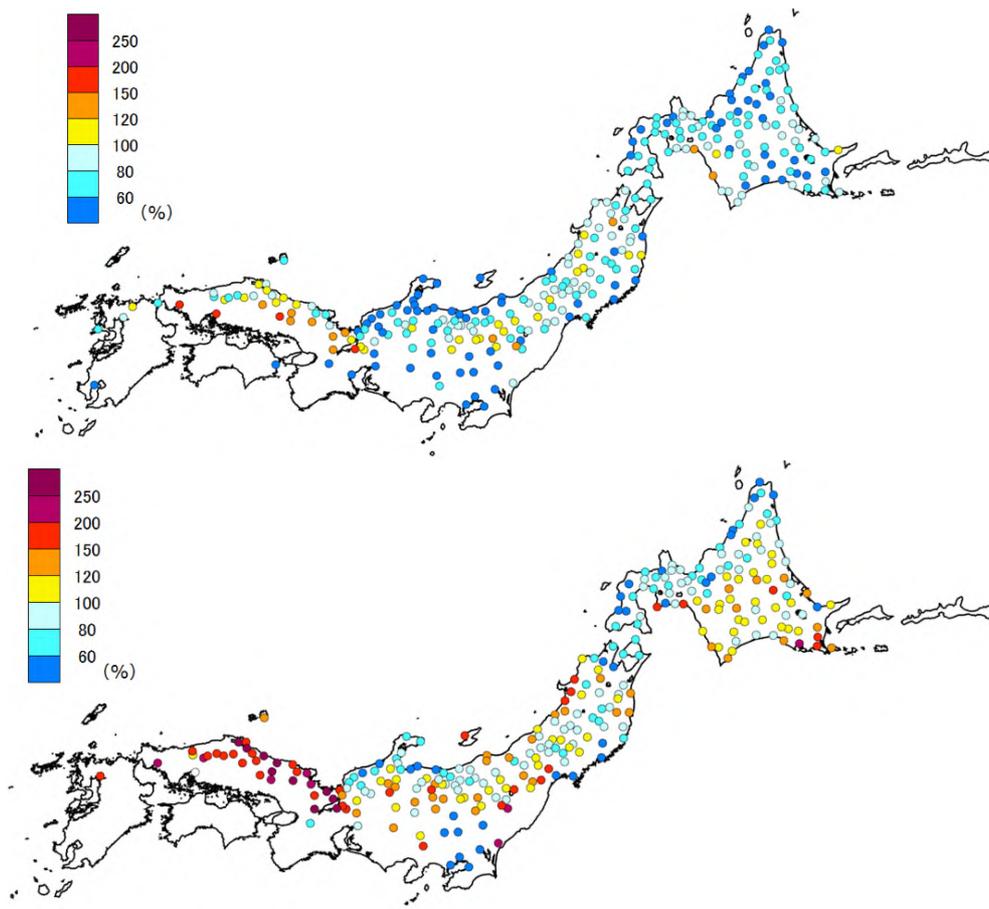
東・西日本太平洋側では、冬の後半に、低気圧の影響を受けることが少なく、高気圧に覆われることが多かったため、日照時間がかなり多かった。

1 概況

日本付近は、寒気の南下が弱く、気温の高い日が多かったため、全国的に暖冬となった。一時的に強い寒気南下することがあり、12月前半は北日本中心に、1月中旬～下旬前半は全国で、2月上旬後半～中旬前半は西日本中心に低温となり、気温の変動が大きかった。

冬の降雪量は、北日本日本海側でかなり少なく、東日本日本海側で少なかった。西日本日本海側での冬の降雪量は平年並だったが、強い寒気が南下した1月中旬～下旬前半と2月上旬後半～中旬前半には大雪となり、交通障害や農業施設被害など発生した。最深積雪は智頭（鳥取県）で111cm（1月24日）と、1月の最深積雪の記録を更新したほか、鳥取（鳥取県）で91cm（2月11日）と、1983/84年冬以来33年ぶりに90cmを超えた。

北日本では寒気の影響が弱かったが、低気圧が日本海や沿海州付近から北日本に進むことが多かったため、北日本日本海側の冬の日照時間は少なかった。一方、東・西日本では、冬の後半に、低気圧の影響を受けることが少なく、高気圧に覆われることが多かったため、冬の日照時間は東・西日本太平洋側でかなり多く、西日本日本海側で多かった。



2017年冬（2016年12～2月）の降雪量と最深積雪
 （上図：降雪量平年比、下図：最深積雪平年比）

2 気温、降水量、日照時間等の気候統計値

（1）平均気温

全国的に高く、沖縄・奄美はかなり高かった。西表島、宮古島（以上、沖縄県）では冬の平均気温の高い方から1位の値を更新し、石垣島、久米島（以上、沖縄県）では1位タイの値を記録した。

（2）降水量

西日本日本海側が多かった。沖縄・奄美で少なかった。北・東日本、西日本太平洋側では平年並だった。稚内、留萌（以上、北海道）では冬の降水量の少ない方から1位の値を更新した。

（3）日照時間

東・西日本太平洋側でかなり多く、西日本日本海側が多かった。水戸（茨城県）、横浜（神奈川県）など9地点では冬の日照時間の多い方から1位の値を更新した。北日本日本海側で少なかった。北日本太平洋側、東日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

（4）降雪・積雪

冬の降雪の深さ合計は北日本でかなり少なく、東日本で少なかった。西日本では平年並だっ

た。

冬の最深積雪は、西日本で多いところが多く、北日本日本海側で少ないところが多かった。

地域平均年差(比)と階級(2017年冬(2016年12月~2月))

	気温 年差 (階級)	降水量 年比 %(階級)	日照時間 年比 %(階級)	降雪量 年比 %(階級)		気温 年差 (階級)	降水量 年比 %(階級)	日照時間 年比 %(階級)	降雪量 年比 %(階級)
北日本	0.5 (+)	98 (0) 日 96 (0) 太 101 (0)	97 (0) 日 95 (-) 太 99 (0)	71 (-)* 日 67 (-)* 太 74 (-)*	北海道	0.3 (0)	97 (0) 日 80 (-)* 才 97 (0) 太 119 (+)	94 (-) 日 92 (-) 才 90 (-) 太 98 (0)	76 (-)* 日 63 (-)* 才 77 (-)* 太 91 (-)
東日本	0.8 (+)	102 (0) 日 103 (0) 太 101 (0)	110 (+)* 日 104 (0) 太 112 (+)*	42 (-)* 日 43 (-) 太 42 (-)	東北	0.8 (+)	100 (0) 日 121 (+) 太 86 (0)	102 (0) 日 101 (0) 太 102 (0)	64 (-)* 日 72 (-)* 太 57 (-)*
西日本	0.8 (+)	115 (+) 日 125 (+) 太 107 (0)	112 (+) 日 112 (+) 太 112 (+)*	70 (0) 日 87 (0) 太 50 (0)	関東甲信	0.9 (+)	94 (0)	113 (+)*	38 (-)
沖縄・奄美	1.1 (+)*	69 (-)	102 (0)		北陸	0.7 (+)	103 (0)	104 (0)	43 (-)
					東海	0.6 (+)	113 (0)	110 (+)*	55 (-)
					近畿	0.6 (+)	123 (+) 日 132 (+)* 太 120 (+)	103 (0) 日 97 (0) 太 106 (+)	82 (0) 日 108 (0) 太 67 (0)
					中国	0.7 (+)	137 (+)* 陰 142 (+)* 陽 131 (+)	111 (+) 陰 114 (+) 陽 107 (+)	101 (+) 陰 97 (0) 陽 107 (+)
					四国	0.8 (+)	112 (+)	108 (+)	0 (-)*
					九州北部	0.9 (+)	118 (+)	115 (+)*	70 (0)
					九州南部 ・奄美	0.7 (+)	77 (-) 本 78 (-) 奄 73 (-)	120 (+)* 本 122 (+)* 奄 109 (+)	0 (-) 本 0 (-)
					沖縄	1.2 (+)*	68 (-)	100 (0)	

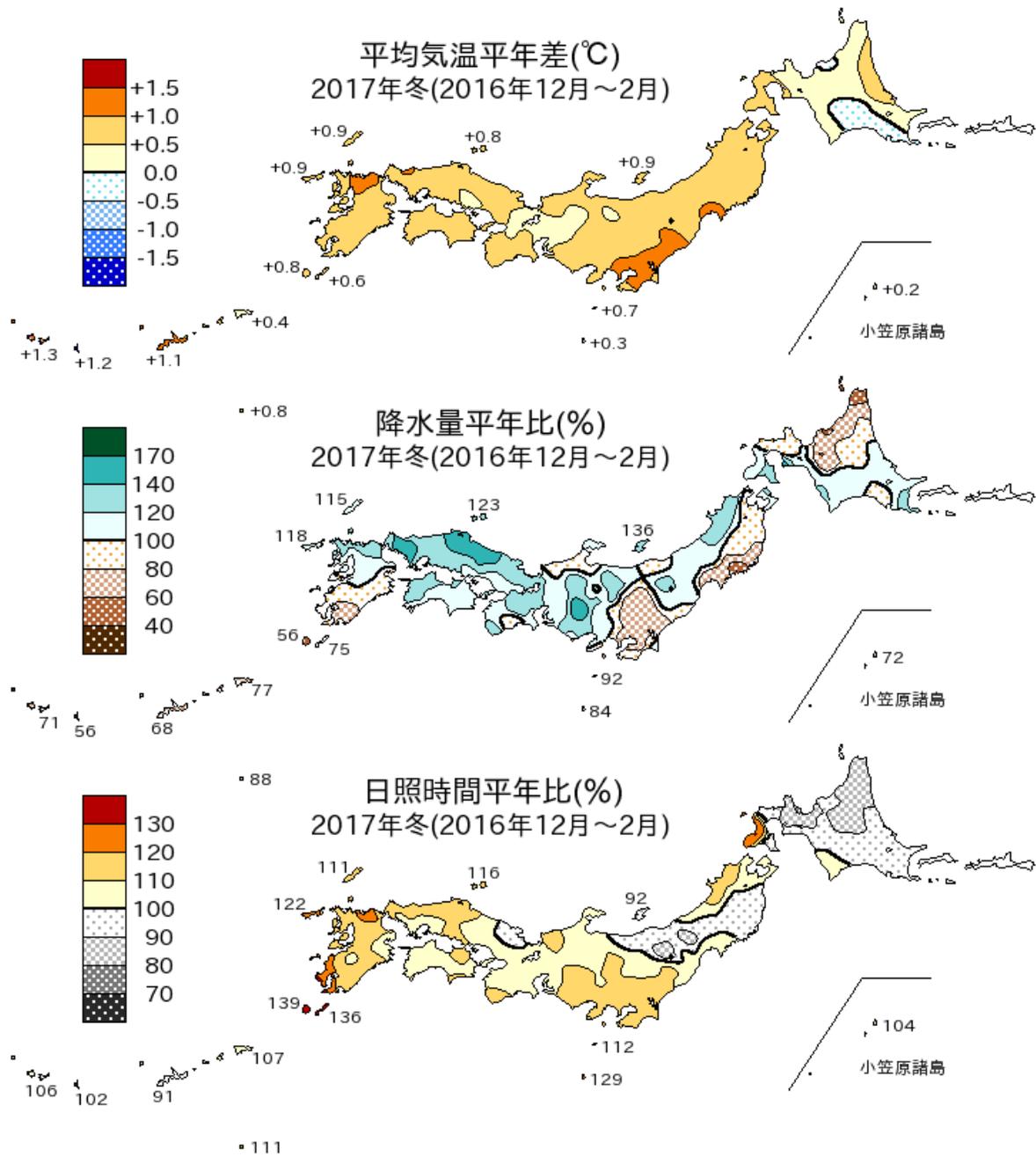
階級表示 - :低い(少ない) 0: 平年並 + :高い(多い)
*はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
才:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
太:太平洋側

(注)・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値で、観測所数は154地点である。このうち、降雪の深さ、最深積雪については、観測を行っている106地点が対象である。

- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981~2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。
- ・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

平年差（比）図（2017年冬（2016年12月～2月））



3 月別の天候経過

12月：数日の周期で低気圧が通過し、低気圧の通過後は北日本を中心に冬型の気圧配置になった。低気圧が発達しながら日本付近を通過してまとまった降水量となった日があり、月降水量は東日本太平洋側と西日本でかなり多く、北日本太平洋側でも多かった。

北日本では、月平均気温は平年並だったものの、月の前半と月末には北海道地方を中心に低温の時期があったが、その間には高温となった時期もあり、気温の変動は大きかった。一方、東日本以西では、冬型の気圧配置は長続きせず、寒気の影響を受けにくかったため、月平均気温はかなり高かった。22日には、日本海が発達中の低気圧に向かって南よりの風が強まり、東日本日本海側と西日本の各地で12月として記録的な高温となった。また、沖縄・奄美では、月平均気温平年差が+1.8と、12月として1位の高温（統計開始は1946年）となった。

月降雪量は、北海道地方では平年並だったものの、低気圧の影響で局地的に大雪となった日があった。一方、東北地方以南では、北からの寒気の影響は弱く、月降雪量は少なかった。

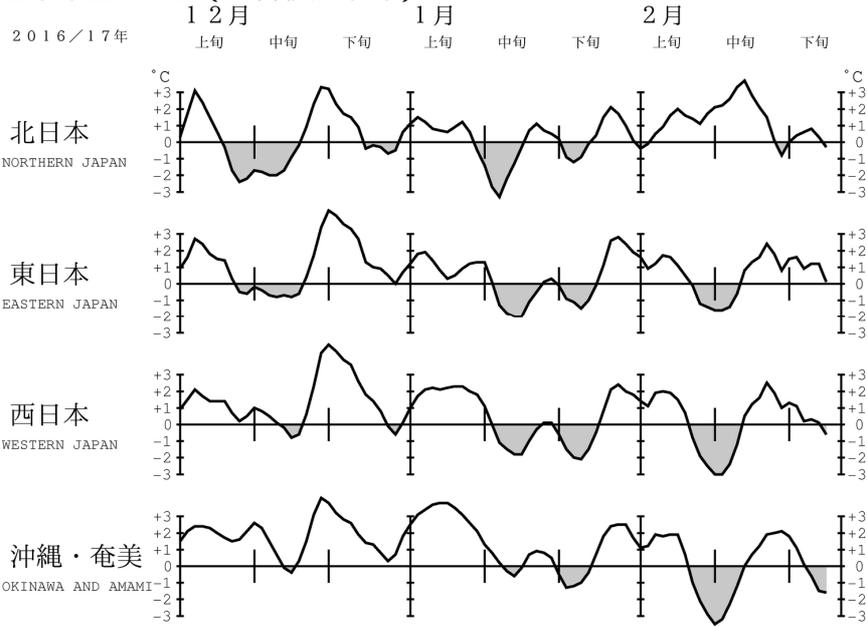
1月：上旬と下旬後半は冬型の気圧配置が続かず、寒気の南下が弱かったため、気温が顕著に高くなった日があった。一方、中旬から下旬前半にかけては日本付近に寒気が南下し、冬型の気圧配置が強まった。全国的に気温が平年を下回り、日本海側では中旬は東北地方から山陰にかけて、下旬前半は西日本を中心に大雪となり、広島（広島県）で15日に19cmの積雪となるなど、太平洋側でも大雪となった所があった。

月平均気温は、上旬と下旬後半の顕著な高温の影響で、沖縄・奄美でかなり高く、東・西日本で高かった。また、西日本では、太平洋側では冬型の気圧配置が緩んだ時期も低気圧や前線の影響を受けにくかったことから、日本海側では寒気の影響を受ける時期はあったものの、月としては寒気の影響が弱かったことから、いずれも日照時間がかなり多かった。

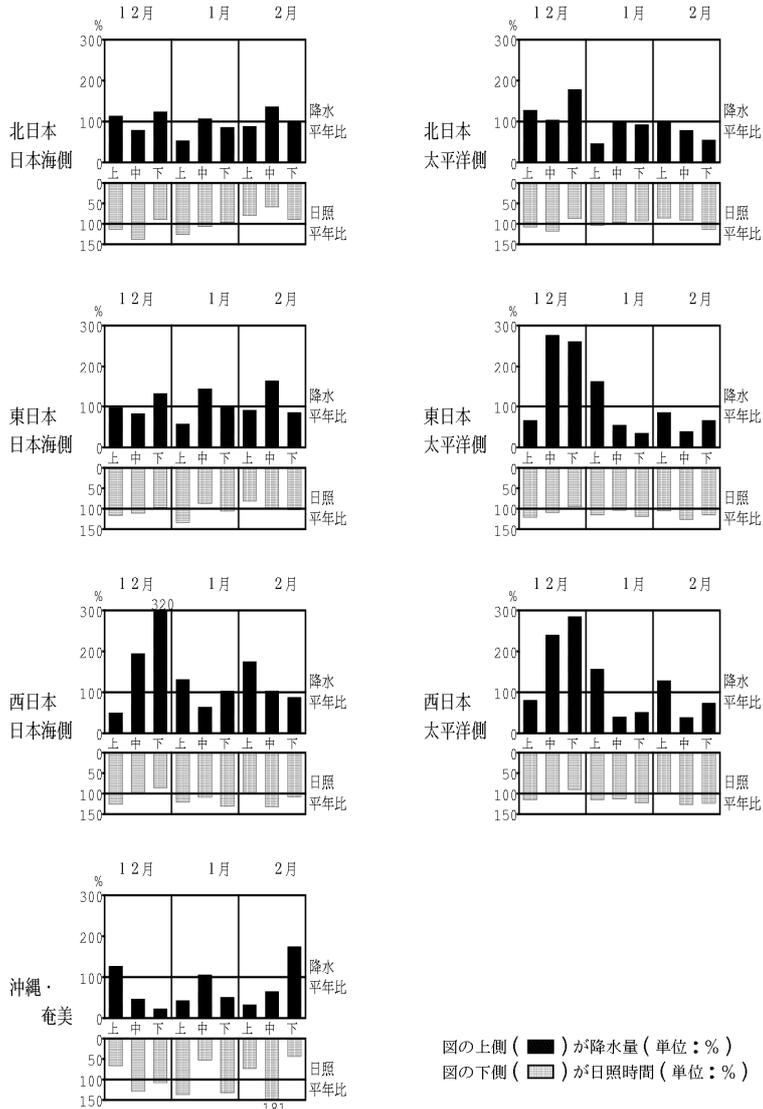
2月：北日本では、北からの寒気の影響が弱く、月平均気温が高く、日本海側の降雪量はかなり少なかった。低気圧が北日本付近を通ることが多く、北日本日本海側では日照時間が少なかった。また、低気圧の影響が大きかった東北日本海側では、降雪量は少なかったが、雪ではなく雨の降る日もあり、降水量はかなり多かった。

一方、東日本から沖縄・奄美では、上旬後半から中旬前半にかけて冬型の気圧配置が強まり、大陸から強い寒気が流れ込んだ。太平洋側では晴れた日が多かったが、日本海側では西日本日本海側を中心に大雪となった。鳥取（鳥取県）では、11日に積雪が91cmに達し、1983/84年冬以来33年ぶりに90cmをこえ、交通障害や農業施設被害が発生した。中旬後半には低気圧が日本海を北東に進んだため、南よりの風が強まって気温が上昇し、各地で春一番が吹いた。東日本以西は、気温の高い時期と低い時期があり、月平均気温は西日本と沖縄・奄美は平年並だったが、東日本では低温の程度が弱く高かった。低気圧は北日本付近を通ることが多く、東日本太平洋側と西日本は、低気圧の影響が小さく、高気圧に覆われる日が多かったため、月間日照時間は多く、西日本太平洋側ではかなり多かった。

地域平均気温平年差の経過 (5日移動平均)

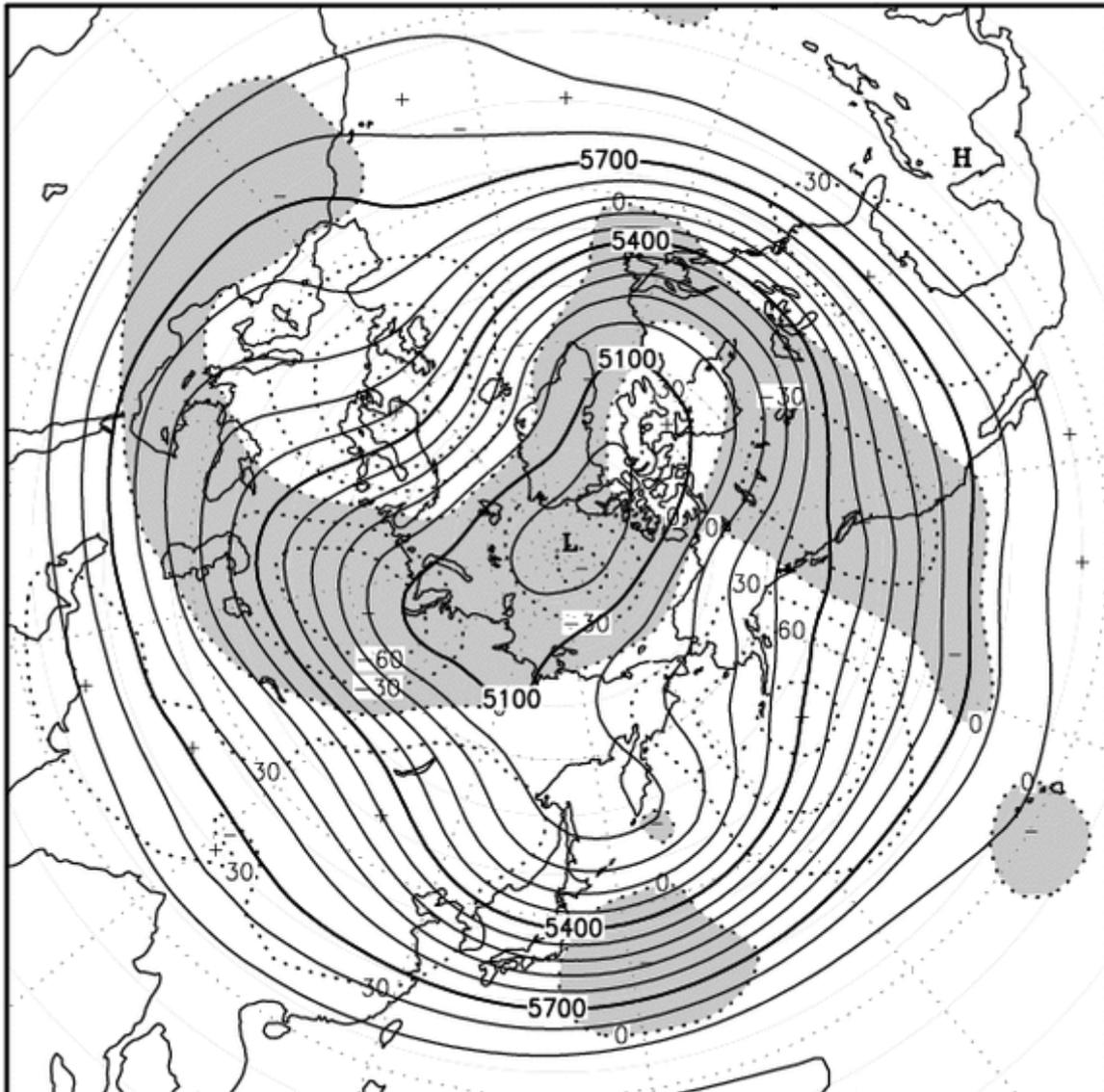


旬降水量及び旬間日照時間の地域平均平年比の時系列



4 大気の流れの特徴

500hPa 天気図：ユーラシア大陸北部では、西シベリアが気圧の谷となり（偏西風が南へ蛇行し）、シベリア付近の偏西風は南西風が卓越し、南から暖かい空気が入りやすく、寒気が弱かったため、日本付近へ流れ込む寒気は弱かった。日本付近では、本州の東海上が気圧の谷となり（偏西風が南へ蛇行し）、日本付近の偏西風は北西風が卓越して、南から湿った気流が入りにくく、東日本以西では高気圧に覆われやすかった。また、西日本中心に一時的に強い寒気が南下した。



2017年冬（2016年12月～2月）の500hPa高度・偏差
（等値線間隔 実況（実線）60m、偏差（破線）30m）
陰影域は負偏差

地名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級		降雪深さ(平年値)階級		最深積雪(平年値)階級						
	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)					
盛岡	0.2	(+0.9)	+	160.0	(96)	32	315.9	(91)	-	150	(213)	-	24	(38)	-	
大船渡	2.7	(+0.9)	+	81.5	(58)	-	18	410.4	(100)	-	18	(53)	-*	5	(12)	-
宮古	2.0	(+0.7)	+	111.0	(63)	-	15	453.1	(98)	-	52	(105)	-	16	(27)	-
仙台	3.8	(+1.1)	+*	64.5	(60)	-	17	461.6	(105)	-	21	(56)	-	5	(15)	-*
石巻	2.8	(+1.0)	+	63.0	(62)	-	16	488.5	(102)	-	29	(41)	-	6	(16)	-
山形	1.5	(+0.8)	+	274.0	(120)	+	52	228.2	(87)	-*	274	(356)	-	53	(50)	-
新庄	0.7	(+0.8)	+	678.0	(119)	+	70	130.2	(96)	-	516	(656)	-*	102	(121)	-
酒田	3.5	(+0.8)	+	580.5	(119)	+	74	154.3	(108)	+	142	(277)	-*	28	(32)	-
福島	3.5	(+0.8)	+	146.0	(108)	-	27	404.2	(101)	-	109	(162)	-	19	(24)	-
若松	1.0	(+0.5)	-	326.0	(125)	+	53	211.8	(86)	-*	279	(401)	-	54	(58)	-
白河	2.4	(+1.1)	+*	121.5	(109)	-	19	508.1	(112)	+	96	(129)	-	35	(22)	+*
小名浜	5.7	(+1.0)	+	135.0	(88)	-	16	602.1	(109)	+	()	()	-	()	()	-
水戸	5.1	(+1.1)	+*	107.5	(70)	-	12	637.2	(120)	+*	12	(14)	-	12	(8)	-
館野(つくば)	4.9	(+1.1)	+*	106.5	(78)	-	13	652.3	(119)	+*	-	(12)	-*	-	(8)	-*
宇都宮	4.5	(+1.0)	+*	82.5	(75)	-	12	662.3	(112)	+*	3	(23)	-	2	(9)	-
日光	-2.3	(+0.7)	+	116.5	(74)	-	21	509.3	(102)	-	120	(303)	-*	44	(40)	+
前橋	5.3	(+0.8)	+	53.5	(68)	-	8	654.9	(107)	+*	5	(19)	-	2	(9)	-
熊谷	5.9	(+0.9)	+	64.5	(67)	-	11	697.1	(115)	+*	-	(18)	-*	-	(8)	-*
秩父	3.5	(+0.9)	+	77.0	(80)	-	11	640.0	(111)	+*	5	(53)	-*	5	(16)	-
東京	7.2	(+1.1)	+*	125.5	(81)	-	12	614.1	(116)	+*	-	(10)	-	-	(5)	-*
大島	9.2	(+1.0)	+*	285.0	(75)	-	21	504.4	(114)	+	()	()	-	()	()	-
三宅島	11.2	(+0.7)	+	417.0	(92)	-	28	405.0	(112)	+	()	()	-	()	()	-
八丈島	11.3	(+0.3)	-	479.5	(84)	-	39	359.6	(129)	+*	()	()	-	()	()	-
父島	19.0	(+0.2)	-	166.0	(72)	-	22	408.8	(104)	+	-	(-)	-	-	(-)	-

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級		降雪深さ(平年値)階級		最深積雪(平年値)階級								
	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)							
千葉	8.0	(+1.3)	+	*	127.0	(75)	12	596.6	(114)	+	-	(7)	-	-	(5)	-		
銚子	8.2	(+0.9)	+		280.5	(108)	18	591.9	(120)	+	*	-	(0)		-	(0)		
館山	7.9	(+0.7)	+		192.0	(80)	18	579.5	(118)	+	*	()		()				
勝浦	8.5	(+1.0)	+	*	241.5	(88)	17	573.3	(118)	+	*	()		()				
横浜	8.1	(+1.3)	+	*	130.0	(73)	-	14	626.6	(118)	+	*	-	(11)	-	0	(7)	-
長野	0.9	(+0.4)	+		203.5	(138)	+	30	431.5	(110)	+		164	(230)	-	49	(31)	+
松本	1.4	(+0.7)	+		97.0	(92)		15	535.5	(107)	+		40	(62)	-	22	(26)	
諏訪	0.6	(+0.7)	+		162.0	(125)	+	18	580.7	(110)	+	*	37	(89)	-	14	(21)	
軽井沢	-1.9	(+0.6)	+		127.0	(128)	+	22	586.0	(115)	+	*	104	(95)		37	(33)	
飯田	2.5	(+0.5)	+		287.5	(151)	+	18	567.3	(113)	+	*	20	(50)	-	16	(19)	
甲府	4.7	(+0.7)	+		121.0	(104)		14	646.9	(109)	+		9	(25)	-	9	(13)	
河口湖	1.5	(+0.9)	+		179.0	(118)		13	660.1	(113)	+		55	(71)		43	(32)	+
静岡	8.5	(+0.9)	+		333.5	(142)	+	15	668.4	(114)	+	*	0	(0)		-	(0)	
浜松	7.6	(+0.7)	+		231.5	(125)	+	13	643.1	(111)	+		()		()			
御前崎	8.2	(+0.5)	+		236.0	(97)		15	657.8	(113)	+	*	()		()			
三島	7.5	(+0.9)	+		232.5	(108)		17	616.8	(118)	+	*	()		()			
石廊崎	9.8	(+0.8)	+		219.0	(100)		18	579.3	(109)	+		()		()			
網代	8.7	(+0.9)	+	*	201.5	(98)		21	488.5	(112)	+		()		()			
名古屋	6.0	(+0.5)	+		165.5	(105)		18	563.8	(110)	+	*	9	(15)		4	(8)	-
伊良湖	7.2	(+0.5)	+		175.5	(99)		16	577.1	(108)	+		()		()			
岐阜	5.8	(+0.4)			204.5	(100)		22	532.9	(110)	+	*	21	(46)	-	12	(17)	-
高山	0.0	(+0.3)			375.5	(132)	+	*	44	299.3	(101)		262	(407)	-	77	(54)	+
津	6.7	(+0.5)			156.0	(111)		18	526.4	(107)	+		3	(6)		2	(4)	
上野	4.6	(+0.6)			200.0	(136)	+		23	409.6	(109)	+	()		()			
尾鷲	7.9	(+0.7)	+		291.5	(91)		14	577.7	(110)	+		()		()			
四日市	5.4	(+0.4)			208.0	(131)	+		25	479.7	(105)	+	()		()			

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数	日照時間(平年比)		階級	降雪深さ(平年値)		階級	最深積雪(平年値)		階級
	()	()		(mm)	(%)			1mm	(h)		(%)	(cm)		(cm)	(cm)	
新 潟	4.3	(+0.6)	+	435.5	(83)	-	57	189.8	(96)		82	(195)	-	34	(34)	
相 川	5.7	(+0.9)	+	499.0	(136)	+*	62	157.7	(92)	-	43	(107)	-	20	(18)	
高 田	4.1	(+0.8)	+	1223.5	(111)	+	71	213.6	(95)	-	230	(537)	-*	70	(121)	-
富 山	4.6	(+0.9)	+	636.0	(94)	-	64	244.7	(107)	+	163	(345)	-	39	(62)	-
伏 木	4.3	(+0.5)	+	581.0	(84)	-	64	225.2	(107)		147	(313)	-	42	(59)	
金 沢	5.6	(+0.8)	+	650.5	(90)	-	68	232.1	(106)		71	(252)	-*	15	(43)	-
輪 島	4.7	(+0.7)	+	701.0	(115)	+	63	172.7	(109)	+	69	(183)	-*	16	(32)	-
福 井	4.9	(+0.8)	+	672.5	(92)		64	258.8	(115)	+	117	(260)	-*	28	(55)	-
敦 賀	6.0	(+0.5)	+	883.5	(122)	+	64	233.3	(109)	+	116	(205)	-	58	(50)	+
彦 根	5.0	(+0.4)		386.0	(129)	+*	47	326.8	(103)		156	(98)	+	60	(26)	+*
京 都	6.0	(+0.4)		193.0	(117)		24	404.7	(107)	+	24	(17)	+	14	(6)	+
舞 鶴	4.9	(+0.5)		593.5	(132)	+*	54	224.8	(95)		165	(191)		54	(34)	+
大 阪	7.3	(+0.4)		182.5	(122)	+	15	466.9	(108)	+	-	(3)		0	(2)	
神 戸	7.5	(+0.6)	+	147.0	(109)		18	477.5	(104)		-	(2)	-	0	(1)	-
豊 岡	4.7	(+0.7)	+	849.5	(135)	+*	57	203.8	(92)		222	(284)		80	(53)	+
姫 路	5.7	(+0.7)	+	139.0	(113)		19	472.4	(105)	+		()			()	
洲 本	6.7	(+0.6)	+	203.5	(124)	+	16	433.9	(101)			()			()	
奈 良	5.3	(+0.5)		212.5	(134)	+	18	365.1	(101)		3	(7)		2	(4)	
和 歌 山	7.7	(+0.8)	+	162.5	(107)		15	449.9	(108)	+	3	(2)	+	3	(1)	+
潮 岬	9.7	(+0.7)	+	380.5	(133)	+	14	636.4	(114)	+*		()			()	
岡 山	6.0	(+0.1)		131.0	(114)	+	16	494.8	(110)	+	-	(3)	-	0	(2)	-
津 山	3.7	(+0.6)	+	221.0	(142)	+	30	351.4	(101)		74	(48)	+	15]	(17)	
														(統計月数: 2)		

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級			降雪深さ(平年値)階級		最深積雪(平年値)階級				
	()	()		(mm)	(%)		(h)	(%)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)				
広島	6.8	(+0.6)	+	210.5	(140)	+	23	445.5	(105)	+	20	(12)	+	19	(6)	+*
呉	7.5	(+0.7)	+	175.5	(129)	+	20	458.3	(107)	+		()			()	
福山	5.9	(+0.7)	+	148.0	(128)	+	19	485.7	(112)	+		()			()	
松江	6.1	(+0.8)	+	638.0	(158)	+*	52	275.7	(117)	+	90	(81)	+	39	(19)	+*
西郷	6.0	(+0.8)	+	537.5	(123)	+	56	281.5	(116)	+	63	(84)		26	(24)	
浜田	7.8	(+0.9)	+	383.0	(133)	+*	42	270.2	(119)	+		()			()	
鳥取	5.8	(+0.8)	+	800.0	(145)	+*	57	245.7	(103)		201	(197)		91	(44)	+*
米子	6.2	(+0.8)	+	596.5	(150)	+*	50	284.4	(115)	+	132	(122)	+	48	(24)	+*
境	6.5	(+0.9)	+*	681.0	(140)	+*	49	259.5	(116)	+	84	(94)		32	(23)	+
徳島	7.7	(+0.7)	+	134.0	(100)		12	520.9	(110)	+	-	(4)	-	0	(2)	-
高松	7.3	(+0.9)	+	133.0	(108)		15	475.8	(110)	+	-	(3)	-	0	(2)	-
多度津	7.6	(+0.8)	+*	148.5	(126)	+	15	483.9	(113)	+		()			()	
松山	7.8	(+0.9)	+	219.5	(136)	+	22	440.0	(110)	+	-	(2)	-	-	(2)	-*
宇和島	8.4	(+0.7)	+	236.0	(128)	+	28	370.1	(103)			()			()	
高知	8.2	(+0.8)	+	222.5	(102)		13	565.1	(102)		-	(1)	-	0	(1)	
宿毛	9.1	(+1.0)	+*	249.5	(123)	+	24	493.5	(106)	+		()			()	
清水	10.6	(+0.8)	+	230.0	(80)		16	560.0	(105)			()			()	
室戸岬	9.2	(+0.7)	+	272.5	(102)		15	598.9	(114)	+*		()			()	
山口	5.9	(+0.6)	+	331.0	(155)	+*	35	397.0	(107)	+	30	(21)	+	14	(10)	+
下関	8.8	(+1.0)	+*	251.5	(117)	+	29	376.8	(118)	+*	2	(4)		2	(3)	
萩	7.5	(+1.1)	+*	333.0	(138)	+	38	296.3	(117)	+		()			()	
福岡	8.7	(+1.1)	+*	260.0	(133)	+	30	417.3	(123)	+*	3	(3)		2	(3)	
塚	7.0	(+1.0)	+	269.0	(128)	+	31	414.9	(121)	+*		()			()	

地名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級		降雪深さ(平年値)階級		最深積雪(平年値)階級	
	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)
大分	8.2	(+1.0) +*	135.0	(94)	14	477.9	(105) +	-	(2)	0	(1)
日田	5.9	(+0.9) +	221.5	(111) +	25	405.1	(113) +		()		()
長崎	8.7	(+0.7) +	239.5	(115) +	23	379.0	(111) +*	3	(3)	1	(2) -
厳原	7.7	(+0.9) +	255.0	(115)	23	498.2	(111) +		()		()
平戸	8.7	(+1.0) +	303.0	(128) +	24	367.3	(117) +*		()		()
佐世保	8.5	(+0.8) +	258.5	(124) +	28	413.2	(114) +*		()		()
雲仙岳	4.0	(+0.6) +	446.5	(149) +*	26	327.7	(115) +*		()		()
福江	9.2	(+0.9) +	339.5	(118) +	25	348.8	(122) +*		()		()
佐賀	7.6	(+1.1) +*	195.5	(109)	23	468.5	(116) +*	6	(6)	5	(4) +
熊本	7.4	(+0.6) +	219.5	(113) +	19	463.7	(110) +	-	(2) -	-	(2) -*
阿蘇山	-0.4]	()	239.5]	()	12]	171.3]	()	x	(107)	x	(23)
	(統計月数: 1)		(統計月数: 1)		(統計月数: 1)		(統計月数: 1)				
人吉	6.0	(+0.6)	235.0	(97)	24	416.9	(109) +		()		()
牛深	10.3	(+0.9) +	226.0	(89)	22	420.4	(120) +*		()		()
宮崎	9.4	(+0.9) +	171.5	(81)	12	623.0	(115) +*	0	(0)	-	(0)
延岡	8.3	(+0.7) +	142.0	(81)	11	618.6	(112) +*		()		()
都城	7.8	(+0.8) +	148.0	(67) -	14	557.1	(113) +		()		()
油津	10.3	(+0.6) +	175.5	(64) -	13	550.9	(112) +		()		()
鹿児島	10.3	(+0.7) +	204.0	(79) -	20	512.8	(123) +*	-	(4) -	0	(3)
阿久根	9.6	(+1.0) +	257.5	(103)	22	429.9	(121) +*		()		()
枕崎	10.5	(+0.8) +	295.5	(100)	27	475.2	(131) +*		()		()
屋久島	13.2	(+0.8) +	461.5	(56) -*	36	330.0	(139) +*		()		()
種子島	13.0	(+0.6) +	212.0	(75) -	21	444.6	(136) +*		()		()
名瀬	15.9	(+0.4) +	396.5	(77) -	43	205.4	(107) +	0	(0)	-	(-)
沖永良部	17.8	(+0.9) +*	210.5	(68) -	28	296.0	(110) +		()		()

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級		降雪深さ(平年値)階級		最深積雪(平年値)階級						
	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)					
那覇	18.7	(+1.1)	+	*	224.0	(68)	-	26	269.0	(91)	-	-	(0)	-	(-)	
名護	17.9	(+1.0)	+	*	258.5	(78)	-	27	285.9	(95)			()		()	
久米島	18.8	(+1.4)	+	*	299.0	(74)	-	26	247.4	(97)			()		()	
宮古島	19.9	(+1.2)	+	*	225.5	(56)	-	*	26	274.1	(102)		-	(-)	-	(-)
石垣島	20.5	(+1.3)	+	*	283.0	(71)	-	28	284.0	(106)			-	(-)	-	(-)
西表島	20.1	(+1.2)	+	*	300.5	(61)	-	33	219.2	(97)			()		()	
与那国島	20.1	(+1.1)	+	*	390.0	(72)	-	41	184.6	(104)			()		()	
南大東島	19.1	(+0.8)	+		258.5	(88)		22	395.9	(111)	+		-	(-)	-	(-)

(注) 1. 平年値は1981～2010年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+ : 高い(多い) : 平年並 - : 低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+ -」に * を付加した。この場合には

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に] がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計月数を参考にして使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

6 順位更新表 2017年冬(2016年12月~2月)

順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

3か月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温	平年差	これまでの最高 (西暦年)	開始年	平年値
1	西表島	20.1	+1.2	19.9 (2007)	1955	18.9
	石垣島	20.5 =	+1.3	20.5 (1998)	1897	19.2
	宮古島	19.9	+1.2	19.8 (2001)	1939	18.7
	久米島	18.8 =	+1.4	18.8 (1998)	1959	17.4
2	下関	8.8 =	+1.0	9.2 (2007)	1884	7.8
	大分	8.2 =	+1.0	8.6 (2007)	1888	7.2
	与那国島	20.1	+1.1	20.2 (2001)	1957	19.0
3	横浜	8.1 =	+1.3	8.3 (2016)	1897	6.8
	大島	9.2 =	+1.0	9.5 (2016)	1939	8.2
	千葉	8.0 =	+1.3	8.3 (2007)	1967	6.7
	福岡	8.7	+1.1	9.0 (2007)	1891	7.6
	那覇	18.7	+1.1	19.0 (1998)	1911	17.6
	名護	17.9	+1.0	18.3 (1998)	1967	16.9
	沖永良部	17.8 =	+0.9	18.9 (1973)	1970	16.9

3か月平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

3か月間降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	松江	638.0	158	675.8 (1947)	1941	404.8
	米子	596.5	150	605.5 (2011)	1940	397.2
	山口	331.0	155	342.0 (2016)	1967	213.9

3か月間降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	稚内	119.5	46	150.1 (1939)	1939	259.5
	留萌	172.0	59	203.5 (2007)	1944	290.1
3	岩見沢	185.0	58	179.1 (1963)	1947	319.9

3か月間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
----	-----	-----------	----------	--------------------	-----	----------

1	熊谷	697.1	115	694.1 (1997)	1900	605.5
	水戸	637.2	120	623.1 (1902)	1900	530.4
	飯田	567.3	113	560.4 (1995)	1900	502.8
	横浜	626.6	118	625.8 (2004)	1906	530.8
	阿久根	429.9	121	420.4 (1999)	1940	354.7
	枕崎	475.2	131	444.0 (1943)	1925	361.6
	屋久島	330.0	139	322.9 (1987)	1938	236.7
	牛深	420.4	120	416.9 (1999)	1950	349.2
	福江	348.8	122	341.8 (1999)	1963	286.4
2	軽井沢	586.0	115	591.0 (1997)	1942	510.9
	三島	616.8	118	655.0 (1997)	1931	524.4
	鹿児島	512.8	123	521.3 (1943)	1900	418.1
	宮崎	623.0	115	641.6 (2004)	1897	541.8
	種子島	444.6	136	448.1 (1961)	1949	327.2
3	宇都宮	662.3	112	683.3 (1997)	1898	589.6
	秩父	640.0	111	668.0 (1997)	1927	576.4
	館野	652.3	119	673.1 (1996)	1922	548.6
	御前崎	657.8	113	698.4 (1997)	1934	581.8
	東京	614.1	116	619.9 (1996)	1892	528.5
	下関	376.8	118	419.9 (1999)	1900	319.5
	福岡	417.3	123	424.1 (1999)	1897	339.2
	佐世保	413.2	114	436.3 (1999)	1948	363.1
	佐賀	468.5	116	523.3 (1999)	1894	405.1
	室戸岬	598.9	114	633.9 (1997)	1921	524.1

3 か月間日照時間少ない方からの順位更新

3 位以内はなし

降雪の深さ 3 か月間合計値多い方からの順位更新

3 位以内はなし

(注) 値の横に] がある場合には、3 か月値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている(資料不足値)。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計月数を参照されたい。
 平年値とは1981～2010年の30年間の値を平均したものである。

【参 考】

2017年冬（2016年12月～2月）の月最深積雪大きい方からの順位更新

気象官署を含む積雪アメダスのうち、順位統計が可能な304地点が対象
 （地点名の左側に * を付した観測所が気象官署）
 1位の値の右側に「=」がある場合は、タイ記録

・12月

都道府県	観測所(カナ)	月最深積雪1位 (12月)[cm]	起日			これまでの1位 (12月)[cm]	起日(これまでの1位)			統計開始	
			年	月	日		年	月	日	年	月
北海道	東神楽(ヒガシカケラ)	67	2016	12	31	59	2012	12	27	2006	12
北海道	別海(ベツカイ)	51	2016	12	23	49	2000	12	19	1988	12
北海道	目黒(メグロ)	79	2016	12	24	62	2012	12	26	1984	12

・1月

都道府県	観測所(カナ)	月最深積雪1位 (1月)[cm]	起日			これまでの1位 (1月)[cm]	起日(これまでの1位)			統計開始	
			年	月	日		年	月	日	年	月
北海道	東神楽(ヒガシカケラ)	63	2017	1	1	57	2014	1	31	2007	1
北海道	別海(ベツカイ)	95	2017	1	23	77	2015	1	23	1990	1
北海道	太田(オオタ)	94	2017	1	23	77	2000	1	20	1987	1
長野県	菅平(スガヒラ)	122	2017	1	21	115	2005	1	21	1982	1
兵庫県	和田山(ワダヤマ)	57	2017	1	24	51	1982	1	30	1982	1
岡山県	千屋(チヤ)	88	2017	1	24	78	2006	1	7	1991	1
鳥取県	智頭(チズ)	111	2017	1	24	87	2011	1	17	1982	1

・2月

都道府県	観測所(カナ)	月最深積雪1位 (2月)[cm]	起日			これまでの1位 (2月)[cm]	起日(これまでの1位)			統計開始	
			年	月	日		年	月	日	年	月
岡山県	上長田(カガタ)	135	2017	2	12	125	1994	2	12	1991	2
広島県	高野(タカノ)	146	2017	2	12	145	2011	2	1	1991	2
広島県	大朝(オオアサ)	90	2017	2	12	89	1994	2	12	1991	2
鳥取県	倉吉(クラヨシ)	61	2017	2	12	49	2000	2	17	1982	2

2017年冬（2016年12月～2月）の年最深積雪大きい方からの順位更新

気象官署を含む積雪アメダスのうち、順位統計が可能な304地点が対象
 1位の値の右側に「=」がある場合は、タイ記録

都道府県	観測所(カナ)	月最深積雪1位 (冬)[cm]	起日			これまでの1位 (冬)[cm]	起日(これまでの1位)			統計開始	
			年	月	日		年	月	日	年	月
北海道	太田(オオタ)	94	2017	1	23	92	2004	3	5	1986	10